



第十四號



官許
琵琶湖新聞

定價三錢五厘

明治六年第八月

西垣文庫
文庫10
7374
14



文庫10
7374
14

緒言

新聞ノ徳タルヤ大ナリ内知見ヲ闡キ外事業ヲ施シ
不知不識文明ノ域ニ進ミ開化ノ室ニ入り上下言路
ヲ通シ勸懲善惡ヲ判ス故ニ
官許シテ天下ニ公ニスル所以ナリ庶幾ハ四方ノ君
子上公裁ヨリ下俚言ニ至ルマデ縷々記載シ吾社ニ
投入シ玉ハンコトヲ是今日ノ必務ニシテ開明ノ徳ニ
報スル所以ナリト爾云

西頭文庫



○ 琵琶湖新聞第十四號

驛通頭ノ通送免許有之諸新聞紙上ニ載スベキ為メ其
社へ報知スル原稿ハ本年七月一日ヨリ無税ニテ通送
配達差許候條左ノ規則ニ遵ヒ各郵便役所取扱所及ビ
郵便箱へ便宜差出可申事

明治六年六月廿八日
大藏省事務總裁
參議大隈重信

新聞原稿通送規則

第一各新聞社ノ頭ニ依テ驛通寮ヨリ府下遠國等へ通
送配達ヲ聞届タル新聞紙ニ限ルコトス○第二重量ハ

毛書用紙
第一口糸

四文目ヨリ踰ベカラズ○第三帶封或ハ開封ニテ檢査
 レ易キ様致シ置クベシ但帶封或ハ上包ヘ報知スベキ
 新聞紙本社及ビ報知者ノ姓名地名等ヲ詳細ニ認且朱
 ニテ新聞原稿ト記スベシ○第四原稿紙中ニ他ノ封物
 ヲ竊ニ差入ル、ハ勿論報知スベキ事柄ノ外一語タリ
 氏書簡様ノ文字或ハ暗号隱語等書載スベカラズ○第
 五此規則ヲ犯ストキハ其原稿ヲ報知者ヘ差戻シ定額
 一倍ノ郵便税ヲ拂ハスベシ○第六原稿報知スル者ノ
 姓名宿所不分明ナルハ之ヲ驛遞寮ニ止メテ廢止ト為
 スベシ

右之通被相定候事

明治六年六月

驛遞頭前島密

○神佛祭禮開扉等ノ節信仰ノ者ハ夫々敬禮ヲ盡シ參
 拜可致ノ処從來ノ弊風ニ泥ミ奇怪ノ打扮或ハ男女姿
 粧ヲ易ヘ候等ノ儀有之醜態ヲ極メ候ノミナラス神佛
 ヲ褻瀆シ以ノ外ノ儀ニ付以來右様ノ儀無之尊崇ノ本
 意ヲ躰シ候様可致旨教部省ヨリ布達アリ
 ○東京府下ヘ達ニ見セ物興行ノ儀ハ鳥獸或ハ諸藝ヲ
 以テ縱觀ト致スベキ筈ニ付取調ノ上差許來候処不具
 ノ者見セ物ニ出シ候儀無之筈ニ候ヘ凡万一心得違ヲ

以不具ニ不拘總テ醜態々間鋪物決シテ不相成候尤モ
 管内有籍ノ者ニテ不具難淡生活ノ目途相付兼候ハ、
 願出次第養育院へ差入扶助致シ遣スベク旨布令アリ
 ○犬上郡彦根住士族渡辺弘人當縣へ建言ノ抄略
 按ニ國ノ富强ハ民ニ因リ民ノ富强ハ智ヲ研キ戈藝ニ
 長スルニ因ル今ヤ文運知覺ヲ修シ駿々乎トシテ開明
 ノ域ニ企歩スルノ勢アリ實ニ千歳ノ一遇苟モ学生々
 ラン公道ニ答ズンハ有ベカラズ然ト雖モ教育ノ實ニ
 於ル行ハレザルノ弊アリ夫僻地タルヤ今日ノ世態ヲ
 知ルアタハズ相唱ヘテ稼穡稻ヲ以テ収スルニ足レリ

豈学ヲ勉メ知識ヲ研クヲ要トセント或ハ学ヲ勉ル
 腐儒ノ弊ニ陥リ徒ニ詩ヲ賦シ文ヲ綴リ身ヲ立ル賤本
 タル学務ヲ要セズ未開ノ説ヲ唱ヘ教育スル弊アリ或
 ハ教師ヲ待遇シ真成ノ学ヲ欲スルモ頑僻陋習ニノ陽
 ニ服役シ陰ニ阻言ヲ発シ事ニ托シ動モスレバ教師ヲ
 辞附スルノ色有リ之其給ヲ村里ニ仰ギ傭人免カレザ
 ル所以ナレバナリ如此ハ教師下情ニ拘泥シ以テ之ヲ
 教ユルカ或ハ之ヲ去ニ有ラザレバ能ハズ此弊アルハ
 實ニ学化ノ行ハレザル根源ナレバ速ニ方法ヲ施シ非
 常ノ英断ヲ以テ公額金ニ非ザル篤志寺院其他ノ献金

五世海潮集 卷十四

或ハ勸業社ノ利金又ハ興行税等学校費ノ何歩分ヲ助
 ケ以テ学課ヲ脩メシメ一時官給ノ教師ヲ分賦シ之
 ラノ滋襲ノ弊ト今日開明ノ習トヲ辨解示諭セシムレ
 バ日ナラズシテ教化真成ノ学課ヲ脩ム是則文明ノ域
 ニ鞭馳セシムル方法ナレバ自ラ開明各知識ヲ研キ事
 業ヲ脩メ公益ヲ謀ルノ置位ニ進マン_レ日ヲ期シテ待
 ツベシ云云

○去六月来北条縣下鳥取縣下及ビ嶋根縣下福田縣下
 名東縣下等頑民蜂起暴卒ノ事件追々鎮定去月来癸黨
 已下ノ者共吟味探索鞫問アルヨシ必ズ所刑ニ行ハル

可シ斯ル聖明ノ世ニ逢ナガラ惡弊ヲ抱キ黨徒ヲ企テ
 狼リニ家産ヲ破逆シ民間ヲ毀ヒ其身ヲ傷ル實ニ頑愚
 ノ至ナラズヤ今先非ヲ悔_レ詮ナシ國恩ヲ知ラザル大
 罪ナリ况_テ海外對峙ノ盛際自ラ悔_レヲ招ク御國恥タ
 ル可ケレバ各脩身整家共和勉強シテ則國富_ニ威ヲ四
 海ニ輝ス之レ民ノ恢力ニ因ルベシ能辨知シテ毫モ損
 害ヲ招カズ其分ヲ盡シ國恩ヲ報シ度_ヲナリ

○蒲生郡日野住正野玄三ナル人性質温厚篤實ニシテ
 方今ノ時勢ニ適シ恒ニ人知開明ニ導_ニント自ラ先達ナ
 既ニ出入ノ者ヲ始説諭シ當今ニ至リ四百余人散髮ナ

カシメ又シヤホンオホテル油ノ類百余人へ施セシト
○蒲生郡日野村々雨乞ノ説

僻阪田舎ノ旧弊ニ早魃年ニ速ンテハ氏神社前ニ群テ
晝夜ニ太鼓ヲ打鳴シ或ハ社外へ打廻リ数丈幟ヲ翻ヘ
シ其長短ヲ爭フヤ俄カ狂言手踊シ淳レ戯レ雨乞ニ事
ヨセ藝技ニ耽タリ或ハ竊ニ淫奔シ其弊習堪ガタク洗
滌セズンバ非ルヲ然ルニ今年旱シテ苗附ナラヌヲ憂
フルニ積年拘泥止ミガタク雨ヲ太鼓ニ打乞レ徒ヅラ
時日ヲ費シテ誠ニ雨ヲ祈ルナク神慮何ゾ降スベキ年
ノ豊凶アルコトハ人ニ疾病アル如シ然ラバ不益ニ心ヲ

尽スヨリ寧口誠心竭カシ一秒時間モ水利シテ勉強ナ
スニ如ハナシ昔唐ノ封載積薪和朝小野小町等雨ヲ祈
レバ忽チニ天地鬼神モ感ゼシト誠心感應スルトキ
ハ祈ラズトテモ神ヤ護ラントアリケレバ太鼓ヲ雨ヲ
呼ゾトテ雲ノ出ルヲ見掛ケテハ頻リニドク打鳴シ
白雨ナラヌ雷大鼓頑愚ニ伴フ太鼓役家別ニ掛ル諸入
費或ハ夜更ケ草臥テ翌日農事ニ怠レリ斯ル弊風ヲ一
翻シ学校建設ヲ盛ニシ愚蒙ヲシテ文明ノ域ニ至ラシ
メント奮發ノ太鼓ヲ打鳴シ天ヨリ雨ヲ降スナル究理
学ヲ要スベシ冀クハ諸君子吾述ル処ノ可否ヲ決判シ

玉ハンフヲ乞フ者ハ同所十字六四文

○浮屠氏ニ日蓮宗ノ題目ヲ唱ヘ太鼓拍子木ヲ鳴ラシ
騷ガシク朝夕佛前ニ祈願ヲナスハ現世ヲ祈ルカ死後
ヲ頼ムカ蓋シ幸福ヲ願ヒ或ハ災ヲ脱セントスルカ是
何ノ為ソヤ必ズ私慾ヲ恣ニセントナリ加ノミナラズ
徃々老若夫婦連レ或ハ壯健ナル男子脊負ヲ掛ケ首ニ
大珠數ヲ輪ナクリ手ニ太鼓ヲ擊チ妙法蓮華經ヲ高ラ
カニ唱ヘ往來スル者數多アリ偶一冗ヲ興レバ諸神諸
佛ヲ呼唱ヘ題目ヲ賦シ頻リニ祈禱ス之レ僅カ一厘ニ
ハ廉ナル者ナリ而シテ徃々是等ニ惑ヘル者アリ多ク

ハ病者患者ナリ茲ニ托シテ法蓮花ノ尊キヲ勸ノ呪咀
ヲ成スニ必ズ病者ハ生靈死靈或ハ怨靈等ノ附者トシ
珠數ヲ操鳴シ祕術ト祈念シ怨靈退散ト患者ニ迫レバ
患者原ヨリ惑ヘルナレバ真ニ附者ト思ヒ苦シキ熱息
ヲ撲シ之ニ應ズ弥信用シ医者モ藥モ投捨テ昼夜ニ祈
リヲ頼ミ病者只管祈念ニテ快氣ス可シト時日ヲ經レ
ドモ竟ニ其驗ナク却テ勞レヲ増シ不食ニ剩ヘ服藥モ
セザレバ大ニ衰弱重病ニ始テ祕法祈念ノ効驗ナキヲ
知り終ニハ其祈念者ヲ恨ムニ至ル此期ニ臨ンデ医者
ヲ迎フニ果シテ手後レシ難病ニ陥リ医療ノ術ナシト

云實ニ惑ヘルノ甚シキ病者ハオロカ者病人マデ俱ニ
 惑溺セル豈人トシテ有ベキナランヤ方ニ今文明進
 歩ノ域是等速カニ洗革シ宜ク教導ノ任ニ有テ頑愚ヲ
 解キ人間靈妙ノ卓位ヲ究メ隆ニ人智ヲ開カセ國家有
 益ニ充ツル是今日ノ急務タルベシト或ル投書ニ依テ
 記ス

○愛知縣下古渡町勘七等七人河豚魚ノ毒ニ中リ治療
 施スニ術ナク頓智者アリ時ニドレタクニ属ス公園ハ
 衆庶ノ集ル所徧ク往テ治療ヲ問フ衆其實ヲ知ル者ナ
 シ只即時藍ノ汁ヲ吞シムルノミ六人ヲ蘇生シ獨リ弥

兵衛ナル者功ヲ奏セズ死スト

○京都新聞ニ底豆ヲ治スル法田螺ノ殻ヲ去リ其肉ニ
 蕎麥粉ヲフリカケ銚ク之ヲ鍊リ紙ニ展ベ度々張替ル
 片ハ二日日程ニ穴アクベシ液ヲシボリ又屢ハリ替ル
 片ハ其終ニテ治スルヲ妙ナリト

○今年初夏ヨリノ旱西國筋其他何國モ同シ景況ナリ
 當國既ニ苗代水乏シク剩ヘ苗付ナラズ農家ノ憂ヒ限
 リナク山邊ハ勿論各郡村頗リニ雨乞ヲ掛ル其舉燻天
 地モ感ヲ容ルト見エタリ或ハ所々ニ水論ヲ発シ互ニ
 爭激甚シキハ蒲生上ノ郡辺連日多久數水路ニ爭ヒシ

吾妻湖新開 第一四号
ガ一人熊手ヲ以テ肩口へ突立シニ胸板へ七八寸モ差
込ニ既ニ命ニモ拘ハリ是ヨリ猶爭論ニ及ビシ由其他
所々何レモ之ニ順ジ競テ井筋ヲ需ム其猛勢恰モ烈戰
ノ如シト雖一雨潤アレバ飄然トノ前日ノ戰論ヲ忘
レ爰ニ次第苗植ス肇メ鈴鹿山ノ下流横田及野洲川筋
又愛知川等兩河掛リハ寂前一雨ニテ苗時後レズ其外
ハ都テ後ル、ト雖今ニ至テハ先後ノ別僅カナリト
而シテ旱歲ノナス又所々去月來頻リニ雨乞ヲ掛ルア
リト

○三潞縣下池前古川ノ兩村水論ヨリ沸騰シ既ニ暴動
ニ及ビ家屋ヲ毀テ多人數屯集候処直ニ縣官派出且ツ
兵力ヲ以テ鎮壓ナスニ賊民忽チ畏縮竹槍ヲ捨テ歸村
殘黨三十余名捕縛巨魁ノ者共廳へ召捕ニナリ速カニ
鎮撫セリト

○度會縣下紀州牟婁郡山碕ニノ土民徵兵令ヲ誤解シ
相謀テ暴舉ノ勢ヲ醸シ近隣ヲ鼓動シ容易ナラザル形
勢ニ付同區戸長須川喜七郎出張ニ說諭ニ及ビシ処一
同御趣意ヲ了解シ早速鎮靜致シ全ク喜七郎憤諭行届
キ動搖ニモ立至ラズ職勢ノ実効相立奇特ノ至ニ付褒
賞有之度旨大藏省へ具狀アリシ由

報告

當局開業以來日ヲ逐テ投書ノ數ヲ増ス所謂上下言路
 ヲ通シ善惡ヲ勸懲シ世ニ裨益アル必セリ唯惜ムラク
 ハ屢無名ノ書アリ就中頃日國事ニ慷慨シ忠告スルノ
 書ニ湖邊住人トアリ曾テ無名ノ書ハ采入セザルト諸
 君ノ知ル所ニノ斯ク匿名ノ書ヲ投ズルハ如何素ヨリ
 國ニ忠告スル其事公然タラバ議事ニ會シ或ハ建言ノ
 可也然レ厄事ノ情實ニ因テ之ヲ新聞社ニ托ス是吾社
 ノ急務タリ此ニ注意アリテ洽ク投書シ玉フベシ
 但其名ヲ表シ表セザルハ當社ノ胸中ニアレバ偷カ
 ニ姓名ヲ出サルベシ其上社則ニ照準シ發刊ス可シ

琵琶湖新聞第十四號終

伏テ四方ノ君子ニ敬白ス既ニ官許ヲ蒙リ局ヲ開キ新聞ヲ刊行シ遐
 邇僻陋マテモ擴メ遠近日新ノ景況ヲ告ゲ俱ニ開化文明ノ域ニ進マン
 トテ希望ス雖然耳目ノ届カザル多シ願クハ小大トナク事實書綴リ本
 局又ハ所々出局取次所等へ出シ玉へ次第ニ出版致スベシ但遠路ハ殊
 ニ報知ヲ希フ其書付ニハ何レモ其住所姓名ヲ載セ玉へ無名ノ書ハ敢
 テ採入セズ無根ノ浮言造説アルヲ恐ル

總テ望ニヨツテ出版スル事件大略

○諸會社ニテ取扱ノ品々出入數量○物價ノ高低○新規發明ノ器械
 ○諸開店ノ披露○田園山林家邸舟車等ノ賣買貸借○失物尋物
 ○觀セ物集會等ノ披露○諸藝私塾開業ノ披露○諸產物家具食品藥劑
 等一切ノ賣買○金銀貸借
 右ノ外總テ世間ニ弘メ人ニ知ラシメントノ事情ハ何レモ一行廿二字
 價三錢ニテ引受出版致スベシ

本局

琵琶湖新聞會社

近江國大津船頭町

大津濱通

原田 五郎助

大津京町

伊助

彦根桶屋町

高田

平三

長濱

田邊

耕平

鳥井本

岩根 平十郎

八幡町

水村

源造

取

八日市

福原郎左衛門

愛知川

中田 清次郎

日笠町

上林嘉右衛門次

守山

田中平右衛門

草津

水口驛

伏木八郎兵衛所

本堅田

北村 清十郎

大溝

三矢 治兵衛

石部驛

小嶋金左衛門

海津

金谷 平三郎

取次所

東京芝大神宮前

山中市兵衛

西京寺町三条下

神先宗八

大阪本町通四丁目

書籍會社